

不登校児童生徒の学習機会を確保する 学習・校務支援サービス「palstep」を提供開始

～ コミュニケーションボットを活用し、学校との連携に基づく在宅学習を実現 ～

ソフトバンクグループで教育事業を担う株式会社エデュアス(本社:東京都中央区、代表取締役社長 藤井宏明、以下「エデュアス」)は、学習障害などにより不登校となった児童生徒が、自宅など学校以外の場所にいながら学校と連携して学習することをサポートするサービス「palstep (パルステップ)」の提供を開始します。2017年11月から2018年3月まで、8つの自治体でトライアルサービスを行い、2018年4月から全国の自治体を対象に本格サービスの提供を予定しています。

文部科学省のまとめによる不登校児童生徒の数は2012年を境に増加傾向にあり、2016年度の小中学校の合計人数は13万4,398人に上り、小学生の208人に1人、中学生の33人に1人が不登校となっています。こうした状況を背景に、学校に来ることができない、来ても教室で授業が受けられないといった児童生徒に対し、国や自治体の責務として、不登校児童生徒が安心して教育を受けられるよう環境を整備し、個々の状況に応じた必要な支援を行うことなどを基本理念とした「教育機会確保法」が2017年2月に施行されました。

エデュアスは、これまで学習障害などによる「学びにくさ」をICTを使って補うさまざまな取り組みを行っており、今回、不登校児童生徒と教職員の連携をICTを活用して支援する学習ソリューションサービス「palstep」を開発しました。

「palstep」は学習・校務のサポートにコミュニケーションボットを活用したeラーニングシステムで、児童生徒はインターネット環境があればパソコン、タブレット、スマートフォンなどを使ってどこにいても学習することが可能です。教職員は学習コンテンツ内に設定されたコミュニケーションボットを活用し、児童生徒の学習に対する意欲や関心を適切に判断できるので、指導計画に沿った学習を提供することが可能です。児童生徒の状況に合わせた教材の進捗調整や学習単元選択など、個別の学習支援で学習空白を埋めることにより、今までは難しかった不登校児童生徒の評価が行われることを目指します。

また、児童生徒の生活記録がコミュニケーションボットのログや学習履歴からデータとして蓄積されることにより、健康状態、生活習慣、学習習慣などを分析することができるため、さらに適切な支援計画や授業計画の立案などに活用することが可能です。

「palstep」のコミュニケーションボットは、特別支援領域の知見を持つエデュアスが、発達心理士、言語視覚士、特別支援教育士、医学博士などの協力のもとに開発しました。学習支援教材は、株式会社学研プラスの「やさしくまるごと」シリーズを使用し、当初は小学校の算数と国語および中学校の数学と国語から提供を開始し、今後は他の教科にも拡大していく予定です。

エデュアスは、「palstep」の提供を通して、不登校児童生徒の学習機会の確保と個々に応じた学びの提供に貢献していきます。

「palstep」の詳細は別紙の通りです。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

1. 特長

- ・ 学びにくさを ICT で補い学習空白を埋める学習支援
- ・ 生活習慣や悩み・困りなどの実態把握に基づく生活支援計画に有効
- ・ 児童生徒と学校・先生をつなぐコミュニケーション機能

2. 対象

小中高生 ※高校生は小中のリメディアル（補修教育）

3. 狙い

学習機会の保証、個々に応じた学びの提供

4. サービス提供予定

2017年11月～2018年3月 トライアルサービス
2018年4月～ 本格サービス

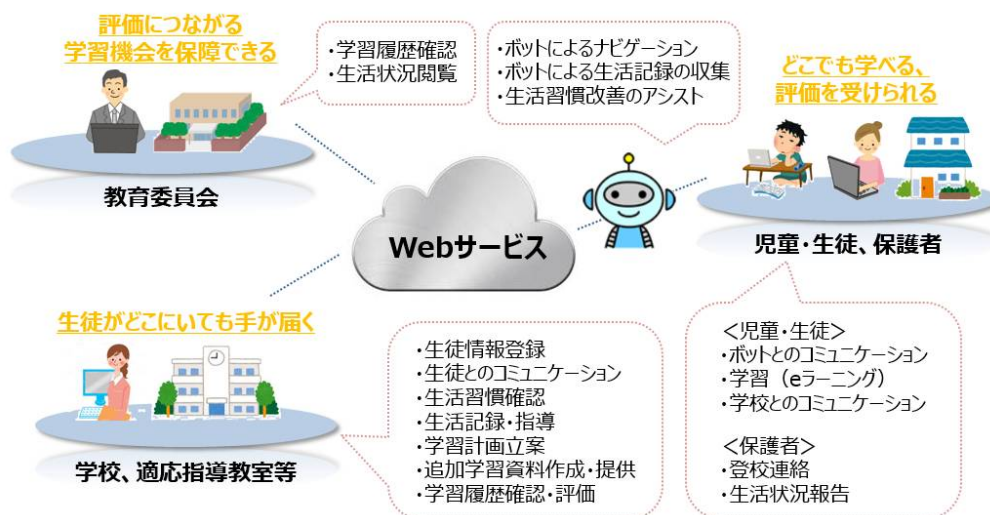
5. 問い合わせ先

株式会社エデュアス 電話:03-6262-6094 e-mail: sales@eduas.co.jp

・ サービス概念図

教職員が対応できない場合の代替として、コミュニケーションボットが学習理解度・生活記録を収集

コミュニケーションボットは、教職員の事前の計画・設定のもとで活用されます



・ 「palstep」 トップページ

